学校番号	403

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「基本地理Ａ」（二宮書店）　　「新詳高等地図」（帝国書院）						
副教材等	「新編地理資料 2023」（とうほう）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・単に地名や事柄の暗記にとどまるのではなく、それぞれの国や地域の社会・文化・生活の様子を具体的に紹介し、エスノセントリズム（自民族中心主義）に陥らない考え方を育てる。
・『なぜ』の視点をもって地理的事象を学習する。
・地図・写真・音楽などの視聴覚教材を多用して、地理への興味・関心を引き出させる。
・新聞記事、インターネット等を利用して、最新の資料・情報を提供する。
・夏休みの宿題において、世界の国に関する特色をまとめた新聞を作成するので、学習の成果を形
にしよう。

2　学習の到達目標

・現代社会の地理的な諸課題を地域性や日常生活との関連を踏まえて考察し、地理的な見方や考え
方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
・地名、地形名、重要語句などの知識を理解させるとともに、地図や統計などの諸資料の読み取る力を養い、適切に判断している。
・地図帳を積極的に活用し、世界の国々における地域的特色がみられる地域の場所をつかむことができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	世界の地理的事象から課題を見出し、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景をふまえて地誌的に考察したり、国際社会の変化をふまえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	地図や統計など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ることや図表などにまとめている。	世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	定期考査 作業学習のワークシート 授業態度	定期考査 作業学習のワークシート 授業態度	定期考査 作業学習のワークシート 授業態度	定期考査 作業学習のワークシート 授業態度
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	球面上の世界	・地球儀と地図 ・国と国の結びつき ・地図で見る世界のつながり	○ ○ ○	 ○ ○	 ○	○ ○ 	a:球体としての地球の把握や様々な図法による世界地図の理解に向けて、作業等に意欲的に取り組んだか。地域や国家間の結びつき、日本の領域に関する諸問題について、興味・関心を持って授業に臨むことができたか。地図や写真、統計資料の読み取りに積極的に取り組んだか。 b:日本の位置と領域について世界的視野から捉え、日本の領域をめぐる問題を考察することができたか。複数の主題図を比較し、地図で示す主題によって、主題図の表現方法が異なることを考察できたか。 c:時差の仕組みを理解し、世界の2地点間の時差を求めることができたか。世界地図を図法の違いにより適切に使い分けられたか。 d:地球を球面としてとらえ、位置・方位・距離・時差・季節について正しく理解したか。世界地図の主な図法と利用について理解できたか。国家の領域に関する知識を身につけ、日本の領土問題について理解したか。	定期考査 作業学習 授業態度(ノート、提出物の状況、授業中の質問に対する応答)
1学期	自然環境	・地形と私たちのくらし ・気候と私たちのくらし ・経済・文化と私たちのくらし	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ 	○ ○	a:世界の地形、気候、経済、文化について、興味・関心を持って理解しようとつとめたか。 地図や写真、統計資料の読み取りに意欲的に取り組んだか。 b:地理的環境や歴史的背景、グローバル化や情報化が人々の生活に及ぼす影響を考えることができたか。 自分が生活している地域の地形や気候の特徴について考えることができたか。 c:学習内容に関する諸事象を、主題図や写真、グラフ、統計資料から捉えることができたか。 雨温図や写真から気候の特徴を読みとることができたか。 地形図から等高線や地図記号を読み	定期考査 作業学習 授業態度(ノート、提出物の状況、授業中の質問に対する応答)

							取り、土地利用を読み取ったり断面図を作成することができたか。 d:地形、気候、経済、文化についての知識を身につけ、主要な要素の分布の特徴を世界的視野から捉えられたか。 自然環境や社会環境が人々の生活・文化・経済の形成に深く関わり、また諸要素が相互に関連しあっていることを理解したか。 世界の多様性を理解し、異文化尊重の態度が重要であることを理解したか。	
2学期	世界各地の生活・文化	・東アジア ・東南アジア ・南アジア ・中央アジア・西アジア・北アフリカ ・ヨーロッパ ・ロシア ・アングロアメリカ ・ラテンアメリカ ・オセアニア	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:世界各地の生活・文化について、興味・関心を持って授業に臨むことができたか。また、理解しようと努めたか。 世界の諸地域の諸問題について、解決の方策を自分なりに考えようとつとめたか。 地図を用いた作業学習に意欲的に取り組み、課題を完成させたか。 b:各地域の自然環境と生活・産業の発展について考察することができたか。 各地域と日本との文化的・経済的関わりを、自分の暮らしとの関連からとらえることができたか。 異文化を尊重する意義に気づき、その重要性を考えることができたか。 c:写真資料から各地域の自然環境、生活・文化の様子を読みとることができたか。 グラフや表などの統計資料から地域の様子を読みとったり、変化を捉えたりすることができたか。 地図帳を利用した地図作業を適切に行うことができたか。 d: 世界の諸地域について、自然環境、生活と文化、歴史、産業と社会等の地域理解に必要な基礎的知識を身につけることができたか。世界の諸地域の地域性をつかむことができたか。 世界の諸地域の生活・文化を地域の環境条件や歴史的背景との関連から	定期考査 作業学習 授業態度(ノート、提出物の状況、授業中の質問に対する応答)

							理解することができたか。 世界の諸地域の経済・社会の特色や問題点に関する知識を身につけ、またそれらの生じた要因を理解することができたか。 諸地域のかかえる民族問題等に関する知識を身につけ、要因を理解することができたか。	
2学期	地球的課題	・人口問題 ・食料問題 ・居住・都市問題 ・資源・エネルギー問題 ・環境問題	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ 	 ○ ○ ○	a:人口問題、食糧問題、居住・都市問題、資源・エネルギー問題、環境問題について、地球社会の一員としての自覚を持ちながら意欲的に授業に臨むことができたか。また、原因や問題点、課題を理解しようと努めたか。 諸問題について、解決に向けた方策や課題を自分なりに考えようとつとめたか。 b:地球的諸課題について地球的視野から捉えるとともに、各事例については地域性を踏まえて問題の所在や解決の方向性を考えることができたか。 諸問題の解決を考察するにあたって、持続可能な社会の実現が必要であること、また自分がその社会の一員であることを自覚して考えることができたか。 持続可能な社会の実現に向けてどのような国際協力が必要か、また、個人が生活の中で実行できることは何かを具体的に考えることができたか。 c:グラフや表などの統計資料から地球的諸課題の現状をつかみ、問題の所在を見つけることができたか。また、将来的な予測をたてることができたか。 d:地球的諸課題について、地球に生きる一員として必要な知識を身につけられたか。 諸問題の原因を理解し問題の解決に地球規模の取り組みが必要なことを理解したか。また、解決には持続可能な社会の実現が必要なことを理解したか。また、諸課題には地域性があり、地域に応じた解決策の必要性がわかったか。	定期考査 作業学習 授業態度(ノート、提出物の状況、授業中の質問に対する応答)

3学期	生活圏の諸問題	・地図とGISの利用 ・日本の自然環境と防災 ・生活圏の諸問題と地域調査	○ ○	 ○	○ ○	○ ○ ○	a:身の回りの地図に興味を持ち、積極的に知識と活用を学んだか。 環境と災害の関連性について考え、防災意識を高めることができたか。 防災のための地図利用について意欲的に取り組んだか。 自らの生活圏の諸課題について考え、地図化していく作業に意欲的に取り組んだか。 地域調査の手法について積極的に学ぼうとする姿勢がみられたか。 b:身近な地図について、目的により表現方法に違いがあることが判断できたか。 紙の地形図と電子地形図の用途や応用について考えることができたか。 地形図から地域の様子を想像することができたか。 日本の自然環境と災害との関係について考察できたか。 防災に必要な事柄、自分が防災に備えて学んでおくべき事柄を考えることができたか。 生活圏の課題を地図化によって捉えることができたか。 問題解決に向けて課題を設定し、地域調査に必要なデータや調査内容・調査方法を考えることができたか。 c: GIS ソフトウェアで地理空間情報を地図化することができたか。 主題図や統計資料から日本の自然環境や土地利用の特徴、災害発生の危険性などを読みとることができたか。 ハザードマップの活用について理解し、国土交通省の情報を閲覧したり自治体の情報を入手する能力を身につけたか。 学習した調査手順に沿って地域調査の具体的な計画を立て、調査内容に適した手段で報告することができたか。 d:身の回りの地図に関する基本的な知識を身につけ、地形図の具体的な活用方法について理解できたか。	定期考査 作業学習 授業態度(ノート、提出物の状況、授業中の質問に対する応答)

							日本の自然環境、土地利用の特徴を知り、自然災害との関わりを理解できたか。 自らの生活圏での防災について知り、地図や地形の知識など地理で学んだことを利用して行動できることを理解したか。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。